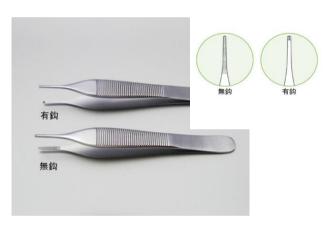
□ඎ攝子

手術時に組織をつまむまたは離す時に使用する。使用する目的により使い分ける。



ブラウン・アドソン鑷子

先端には歯がついており、縫合時や傷を閉じる時に使用する。



アドソン鑷子(有鉤・無鉤)

表層での手術操作に使用する。細部の組織を把持する時に役立つ。無鉤は組織の挫滅を防止するために横溝がついている。有鉤は先端の歯によりピンポイントに組織を把持できる。



ドベーキー鑷子

先端が細く、内側に繊細なサメの歯のような突起を持つ。滑りにくく、薄膜や血管などの組織を繊細に把持することができる。

縦溝と細かい歯を持つのが特徴。

♡☆把持鉗子

把持したり、牽引したりする器具。使用目的の臓器により多くの種類がある。



タオル鉗子

ドレープを動物に固定する際に使用する。



アリス鉗子

組織を把持する際に使用するが, 先端の部分で 把持した組織を挫滅する。



バブコック鉗子

先端に溝がついており、胃、腸、膀胱など繊細な 組織を把持する際に使用する。先端にかかる圧 が弱いため、組織への損傷は少ないが、組織を 確実に把持する力は弱い。



腸鉗子

腸管を把持するための鉗子。組織を挫滅すること 無く、均等な圧力で腸全体を把持する。

⇔止血鉗子

血管を把持し、出血を抑えるために使用する鉗子。



モスキート鉗子(ハルステッド止血鉗子)

小さな血管の止血に使用する。



ケリー鉗子

大きくて丈夫な止血鉗子。先端の半分に横溝が ついている。ペアン鉗子より細い。



ペアン鉗子

ケリ一鉗子より頑丈で、より大きな組織の把持に 適している。先端はケリ一鉗子の方が繊細。 ペアンには区別のために溝が刻まれている。



コッヘル鉗子

皮膚などの硬い組織にある血管をつかんで止血 する。先端には鈎がついている。

⁸。剪刀

組織の切開や鈍性剥離に使用する



メッツェンバウム剪刀

脂肪組織や筋肉などの組織を切開したり,組織を鈍性に剥離する。

※糸を切断すると切れなくなる



メイヨー剪刀

厚い結合組織のような固い組織を切開したりする際に使用する。



クーパー剪刀

組織の切開や組織の剥離を行う際に使用する。 縫合糸や結紮糸を切る際にも使用する。



ワイヤー切断剪刀

縫合糸やワイヤーの切断に使用する。



毛刈り剪刀

毛刈りをするときに使用する。

縫合の際に縫合針を把持するためにしようする



マチュー型持針器

縫合していくことができる。



オルセンヘガール持針器

正確性には劣るが、強い力で はさみがついている持針器で縫合 と切断が可能



ヘガール型持針器

⇔リトラクター・開創器

術野の視界を良好にするために使用する



センリトラクター



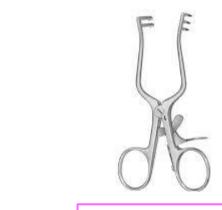
ホーマンリトラクター



ゲルピー開創器



バルフォー開創器



ウェイトライナー開創器



フィノチェット開創器

⇔その他手術器具



ロンジュール

骨や軟骨などの硬い組織を破砕して切除する際に使用。



鋭匙

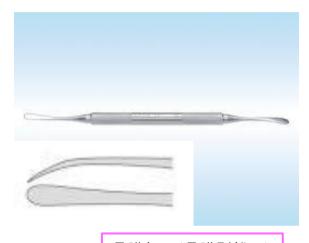


スキンステープラー



ケリソンパンチ(ロンジュール)

骨や軟骨などの硬い組織を破砕して切除する際に使用。



骨膜起子(骨膜剥離子)

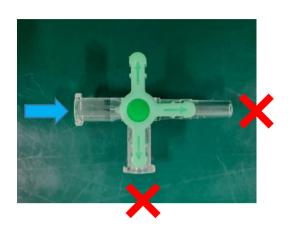


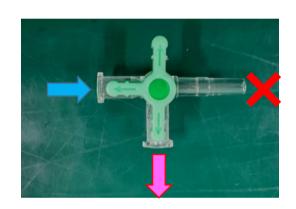
電気メス

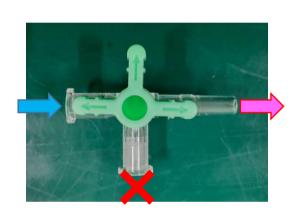
[⇔]その他の器具

三方活栓









開口器



エレベーター

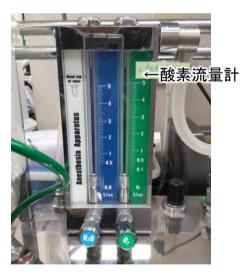


[⇔]無醉器









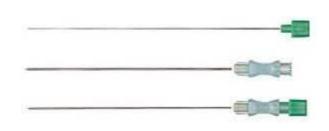


⇔検査関係



Jamshidi骨髄(骨髄穿刺針)

骨髄生検をする際に使用



スパイナル針

脳脊髄液を採取したり、脊髄造 影剤および硬膜外麻酔を実施 する際に使用



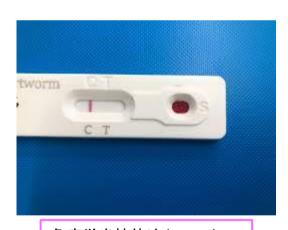
生検トレパン



Tru-Cut針



薬剤感受性試験



免疫蛍光抗体法(ELIBA) →イムノクロマトグラフィー法



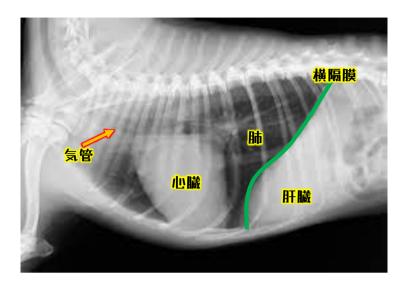
真菌培養検査(皮膚糸状菌)



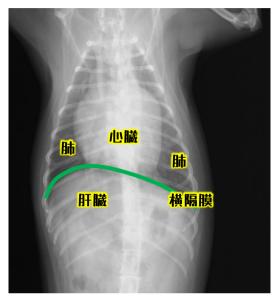
屈折計(比重・タンパク)

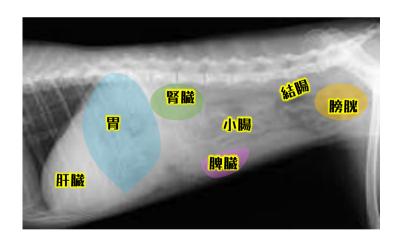
ੴ☆検査関係(続き)

レントゲン検査



・胸部のレントゲン検査 ⇒最大吸気時に撮影

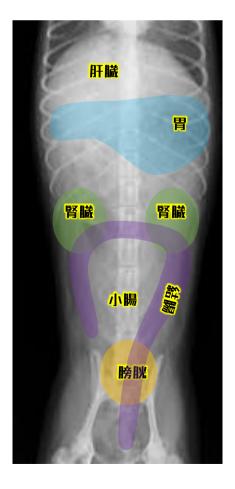




・腹部のレントゲン検査 ⇒最大呼気時に撮影



ちなみにレントゲンフィルムを読影する際に後ろから光を放つ器具を「シャウカステン」といいます



⇔検査関係(続き)

超音波検査





コンベックス型

腹部全般を広範 囲に観察する

リニア型

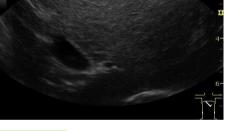
浅い部分を鮮明 に観察する

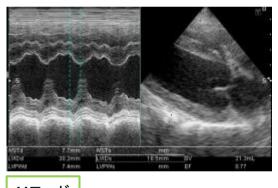
セクタ型

肋骨の間など狭 い部分から観察 する⇒心臓の観 察に用いる









Dモード

Mモード

内視鏡検査

Bモード





CT検査・MRI検査

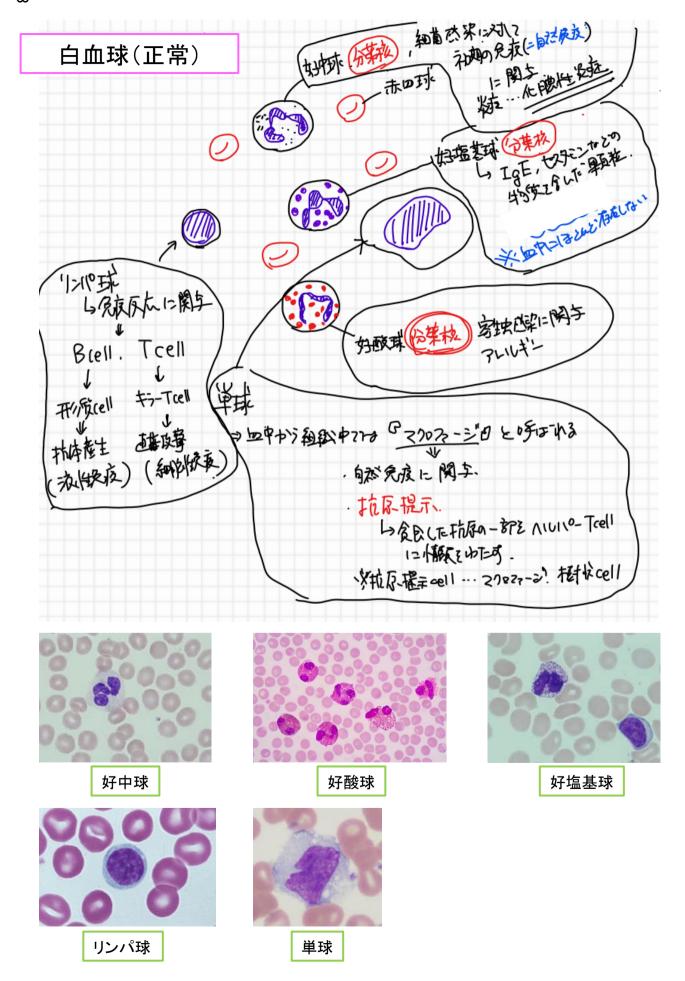
CT検査

X線を用いて断層画像を得る検査。X線 を用いるので被ばくの可能性あり。骨格 や臓器全般の観察を特異とするが、骨 に囲まれた構造は△

MRI検査

磁器を用いて断層画像を得る検査。放 射線を用いないので被ばくの可能性な し。脳や脊髄の病変を検出するのに有 用。

ੴ☆検査関係(続き)



⇔検査関係(続き)

